

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

6月定例会では、15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁は次のとおりです。(質問順に掲載)



## 一般質問

比企孝司 議員

### 「新型インフルエンザ」より充実した対策を

**議員** 新型インフルエンザへの対応が求められているが、市立病院、保健センターの役割は今後どのようなものか。

**市民生活部長** 市立病院については、機能に応じた入院、外来診療を行い、院内感染の防止に取り組むとともに、特に基礎疾患を有する患者への感染が及ばないよう、感染防止措置を講じることが重要な役割と考えている。また、保

**議員** 本市でも補正予算を組んで、安心・安全な対応を図る考えはあるのか。あるとすれば具体的な内容はどのようなものか。

**市民生活部長** 本市としては、現在、インフルエンザ対策に関する備蓄については、かなり不足しているが、国からの地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、補正等が組まれる予定になっており、これによりマスクや防護服、あるいはゴーグル、消毒液等を補正追加計上したいと

思っている。

### 全国学力テストについて

**議員** 市内小・中学校で実施している国や県等の学力学習状況調査等の本市の実力状況と、その対応状況はどのようなものか。

**教育長** 本市の状況は、全国平均並びに県平均をおおむね上回る結果が出ている。また、全国との比較から、中学校数学において、埼玉県との傾向と同様に、活用する力について課題があることが明らかになった。このことを受け、教育委員会としては、市内の算数・数学主任を集めて、正答率が低い問題の分析と改善策を話し合い、その内容を各学校へ周知し、各学校での効果的な指導方法の改善に取り組むよう指導し、現在も継続中である。

**ほかに** 「蕨駅西口再開発事業」「塚越陸橋の改修工事」について質問。



ひき こうじ

# 蕨市の新型インフルエンザ 対策はどう考えているのか



おいし こういち

**議員** 市内発症で市役所業務・公共施設の利用はどうなるのか。

**市民生活部長** 市役所業務については、通常業務を維持することが重要と位置づけているが、近隣各市の対応や感染状況等を見きわめながら、職員健康管理も含め、適切に対応してまいりたい。

**議員** 公共施設については、感染の状況に応じて県と協議の上、公共施設の利用制限、開催行事の自粛要請等について対策本部において決定し、適切に対応してまいりたい。

**議員** 小・中学校・保育園の休校・休園についてはどのような考えているのか。

**教育部長** 県教育委員会は、県立学校の児童や生徒、教職員が新型インフルエンザに感染した場合、その学校を臨時休校措置とする方針を示している。臨時休校の範囲は、感染者や濃厚接触者の行動範囲を踏まえ、本部会議で決定し、市町村に要請を行うとしており、教育委員会としては県の本部会議の要請を受け、市の対策会議で休校について判断をいただき、実施したい。

**健康福祉部長** 埼玉県健康福祉部からの通知で、園児や職員が新型インフルエンザに感染した場合、臨時休園措置とする方針を示しており、さらに県の新型インフルエンザ対策推進本部会議において、臨時休園の範囲は、感染者や濃厚接触者の行動範囲を踏まえ、本部会議で決定し、市町村に要請を行うとしており、市としては、要請を受けて行われる市の対策会議で保育園の休園について判断をいただき、実施してまいりたい。

**議員** パンデミック時、市立病院はどのような

対応をするのか。  
**病院事務局長** 当病院では、既に当病院における新型インフルエンザ対策行動計画を策定し、その行動計画とあわせて、国の通知や基本的対処方針に基づき、医療機関として可能な限り受ける影響を抑制し、医療業務を維持することにも、院内における感染拡大を防止するための措置を講じているところである。



新型インフルエンザ対策として市役所に設置された消毒液

# 教育委員長に学校の統廃合 についての見解を求める



いまい りょうすけ

**議員** 教育委員長として、児童・生徒数の急速な減少にどう考え対応すべきか。

**教育委員長** 人格形成の面から多様な集団の中で成長が図られることが望ましく、学校には一定規模以上の児童・生徒数が必要であり、将来を担う子どもたちがよりよい環境の中で効果的な教育が受けられるよう適正規模への配慮を行うことが必要であると考えている。

**議員** 財政状況から考えて、今の学校数を維持することが難しいが、学校の統廃合について教育委員長としての見解を尋ねたい。

**教育委員長** 基本的には各学校の学級数や通学距離、教育環境の状況、地域コミュニティの核として地域での役割などを勘案し、総合的に判断すべきものと考えており、現在、教育委員会では、小・中学校の再配置等に関する検討委員会を設置して、調査及び研究を進めている。

**議員** 今後の教育委員会のあり方について



6月にはあじさい祭りが開催された「ねむのき公園」

やうい特色のある公園づくりを推進し、公園を利用する方々とともに、みんな考え、育てる公園づくりを進めるとともに、子どもたちの遊びを誘発する遊具や、四季折々の草花や樹木の香りが楽しめる花による心の和みを来園者に提供できるような楽しさあふれる公園づくりを目指して取り組んでまいりたい。

**議員** これからの教育委員会はどうあるべきと考えるか。

**教育委員長** 今後の教育委員会のあり方としては、形ばかりの教育委員会ではなく、学校の、家庭、地域の連携という言葉にあらわされるように、地域住民の意向を踏まえた上で施策の展開をしてまいりたいと考えている。

**特色ある公園づくりについて**

**議員** 都市公園の現状と、公園の新設や再整備する際、特色ある公園整備に向けてどのように取り組むのか。

**都市整備部長** 公園の多くは植栽を初め、ブランコ、滑り台、砂場の基本的な遊具が設置されており、新設や再整備する際は、地域の特性を生かした、市民のだれもが利用しやすい特色のある公園づくりを推進し、公園を利用する方々とともに、みんな考え、育てる公園づくりを進めるとともに、子どもたちの遊びを誘発する遊具や、四季折々の草花や樹木の香りが楽しめる花による心の和みを来園者に提供できるような楽しさあふれる公園づくりを目指して取り組んでまいりたい。



# 発達障害児に対し周囲のご理解とご支援の輪を！

**議員** 発達障害支援法に基づき、本市の実態と発達障害児支援チームの創設と特別支援員の増員強化をすべきと思うがどうか。

**教育長** 医療機関等で発達障害と診断された児童・生徒の数は、平成17年度末は25名、18年度末が34名、19年度末が32名、20年度末では36名である。平成17年度には特別支援教育コーディネーターが各学校で指名されて以来、校長のリーダーシップのもと、全校的な支援体制の確立を図っており、平成20年度からは、特別支援員が小学校7校に1名ずつ配置され、校長や特別支援教育コーディネーターの指導のもと、各校の対象児童の実態に応じた支援活動を行っている。特別支援員の増員強化については、本年度当初、小学校7校、中学校1校より対象児童・生徒31名に対して特別支援員の配置希望が提出され、教育委員会内で精査し、各小学校に1名ずつ配置した

が、支援を必要とする児童・生徒の状況を考慮して、今後検討してまいりたい。

**75歳以上の高齢者医療費無料化について**

**議員** 75歳以上の高齢者医療費無料化への認識と可能性についてはどうか。

**市長** 議員も指摘の東京都日の出町で実施されていて

大きな話題になっていることは承知している。本市でも、もしこれを実施するとすると、恐らく4億円近い財源が必要になるということを考えていると、これは非常に難しい。

## 改修工事の早期実現について

**議員** 経年劣化が著しい市道16-06号（中央浄水場通り）の早期改修工事の必要性があると思うがどうか。

**都市整備部長** 当該路線は舗装の供用性能の低下



いちのせき かずいち

を招き、路面性状は好ましくない状況である。表層部の切削オーバーレイ工法の更新改修で機能回復が可能と考えているので、工事に向けての検討をしてまいりたい。

**ほかに** 「公園遊具の老朽化の実態と更新改修」「北町公園の遊具の一新」について質問。



路面の補修が望まれる中央浄水場通り

## 一般質問

# 消防行政について 取り組みと諸問題を問う

**議員** 消防団の役割について伺いたい。

**消防長** 特に規定を定めていないが、隔月で行っている消防団幹部会議やその他の諸会合等において、火災時の消防団の活動範囲について適時協議をしている。協議の中では、合意事項としては、1消火活動、2マシンポン等耐火建物火災における階下の水損防止及び上階、隣室への警戒配備



有事に備えて夜間消防訓練をする第5分団

3出火場所以外の災害弱者の救助活動、4強風下での火災の飛び火警戒及び火災予防広報、5消防警戒区域の設定、6発生場所の地元消防団による残火処理などであり、これらを消防団の役割としている。

**議員** 消防署職員の手当は近隣市に比べてどのような状況にあるのか。

**消防長** 火災出動、救急出動及び救助出動の際に手当を支給しており、近隣市とほぼ同様の手当を支給している。

**議員** 職員に対する心のケアはどのようにしているのか。

**消防長** 消防職員、消防団員に、このころのケアに関する研修会を毎年実施している。

## 本市の行事設定について

**議員** さわやか環境の日とロードレースの日程が重なっているが、変更の検討はないか。

**教育部長** 本年度の開催については開始時間をおくらせることで時間帯の重複を避けた



みわ かずよし

## 自治功労者表彰の見直しについて

**議員** 市内に住む技術者、職人等に対して表彰する考えはないか。

**総務部長** ご指摘の国の制度である黄綬褒章のような項目を新たに設けることについては、蘇市表彰規則に基づき自治功労表彰の中では難しいが、長年にわたり培われた優秀な技能を持って、地域の発展並びに地域福祉に貢献されている方々を顕彰することはとても大切なことと思うので、今後、優秀技能者の発掘には意を用いるとともに、自治功労者表彰式の中でも広く市民の皆さんに知っていただけたらという、顕彰のあり方について検討していきたい。

# 新中心市街地活性化 基本計画について

**議員** 都市再生のための改正中活法であるが、計画策定のスケジュールについてはどのようなように考えているのか。

**市民生活部長** 現在、現状の分析、整理を実施中であり、その後は課題と計画条件の整理を行った後、基本方針の検討や目標の設定、活性化事業の検討などを進め、平成22年1月ごろを目途に計画素案を作成し、活性化協議会などの意見調整を行い、たいと考えている。

**議員** 法定協議会の設置については、いつ頃を予定しているのか。

**市民生活部長** 本年12月ごろの設置を目的として、商工会議所と連携しながら準備を進めていきたいと考えている。

**議員** 当該街区となる、藤駅西口市街地再開発事業と中央第一土地区画整理事業は、基本計画にどのような位置づけ



工事が進捗する藤一高い7番街区高層ビル



いけがみ ともやす

活用するという提言についてどう対応するのか。

**市民生活部長** 元気な商店街づくり検討委員会では、中間報告に盛り込まれた事項のうち、歴史民俗資料館分館への「お休み処」設置については大きな期待をしている。

そこで、本年度の委員会では、さらにその内容や運営主体について検討を進めることとしており、この検討状況も見きわめながら関係部局と協議を行い、実現に向けて努めてまいりたい。

**議員** 中心市街地への県営施設の立地促進と言った観点から市庁舎第二駐車場に、河鍋曉斎記念美術館を誘致新設する考えはないか。

**市民生活部長** この事業は検討に取り組むにしても、市単独でできる事柄ではなく、まずは広範な関係者や多くの市民の理解と協力が必要であると考えており、今後については関係者の意見なども伺いながら研究してまいりたい。

**議員** 歴史民俗資料館分館を改修し、「お休み処」として

# プライバシーがない低額 宿泊所ビジネスを問う



宿泊施設を訪れ実態調査をする派遣村実行委員会(千葉市)

**議員** 市長としての感想を伺いたい。

**市長** 大きな課題がある。本人の意思でそこに住んでいるというより貧困が固定しているようだ。3畳程度で居住費4万7千700円は高い。背景に貧困問題があり、国と県が整備すべきだが実際はできていない。

**議員** 宿泊所入所を生活保護申請の前提にしないか。

**健康福祉部長** 住居の無い相談者は個々の事例により対応している。宿泊所入所を前提とはしていない。

**議員** 今年に入つての生活保護の増加傾向はどうか。

**健康福祉部長** 12月から5月の半年で保護開始は126件、前年同月比で48件増。うち失業と収入減が42件増である。

**健康福祉部長** 施設の改善を県と近隣市で協議したい。



かじわら ひであき

**議員** 母子加算が4月に廃止された。そのための国費は20億円。政府は15兆円もの経済対策をとるなら、母子加算こそ復活すべき。①当市の実態②新たな制度についてはどうか。

**健康福祉部長** ①廃止になったのは22世帯、子ども31人。②高校就学費は8世帯9人で年額約108万円。ひとり親就労促進費は136件で136万円。7月から新たに学習支援費(月額が、小学生2千500円、中学生4千300円支給される。

## 公園の騒音問題

**議員** 北五公園のバスケットコートでの夜間騒音はどうか。

**都市整備部長** 公園近隣から苦情がある。公園灯の消灯、看板の増設、通報への迅速な対応などしている。適切な利用方法を今後検討したい。

**ほかに** 市民体育館の予約の改善について質問。

## あつたか市政を問う

### 母子加算の廃止問題



# 女性の健康支援と がん対策について

**議員** がん検診の効果や必要性など、市はその情報提供にどのように取り組んでいるのか。

**健康福祉部長** 国は、女性の健康支援対策事業を拡大したところであり、本市としても各種保険事業を推進しなければならぬ。現在、市民の健康づくりを推進するため、健康わらび21計画に基づき実施しており、子宮がん検診については20歳から、乳がん検診は30歳以上を対象に実施している。多くの方に受診して頂くために、広報蔵やホームページ、ポスターも作成し、公共施設・大型スーパーや町会掲示板で啓発に努めている。

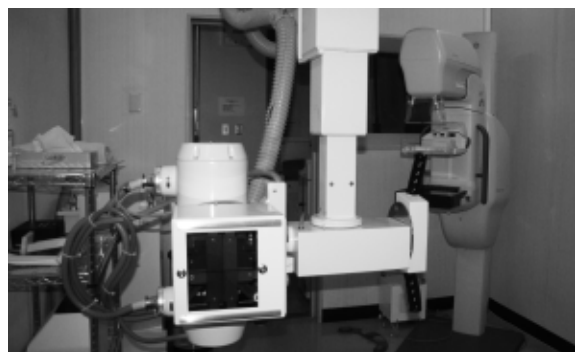
策に係わる本市の対応だが、現在のところ実施要綱などの通知が来ていないので、通知が発信され次第、実施に向けて具体的な検討を行っていききたいと考えている。

**議員** 国は、23年までにがん検診の受診率を50%以上にするという目標を定めているが、市の目標と今後の推進についてはどうか。

**健康福祉部長** 市も国が示す受診率の向上に努めている。乳がん、子宮がん検診に関して、申込期間や実施期間の拡大を図り、「各種がん検診や健康診査についてのお知らせ」のリーフレットを作成し、全戸配布する等、今後がん検診をはじめとする保険事業の推進に努めてまいりたい。

**議員** 新経済政策では、子宮頸がんは、20歳から40歳まで、乳がんは40歳から60歳までの間、それぞれ5歳刻みの対象者の検診手帳・無料クーポンの発行を打ち出しているが、本市としての対応と取り組みについてはどうか。

**市長** 健康づくりの一環としてのがん検診、とりわけ今回は女性特有のがん検診の受診と



がん検診受診率50%を目標に設備を整える保健センター



たかはし えつろう

いうことだが、いずれも重要な事業だと考えている。これからいろいろな工夫をして1人でも多くの方に受診してもらえるように体制整備しながら努力していきたいと思っている。

**ほかに** 「国民健康保険税の減免制度と納期回数増加」「火災警報器の設置義務化と強化」「小・中学校・公共施設のデジタル化推進計画」について質問。

## 一般質問

# 公文書管理は市民参加の まちづくりへの第一歩

**議員** 市長マニフェストに掲げられた施策に関する文書の保管、廃棄はどのような基準で行うのか。

**総務部長** 市長マニフェストに掲げた諸施策は重要度の高いものと考えており、文書取扱規則の基準に照らしても5年、10年、永年といったある程度の長期間になるものと考えているが、市長マニフェストに掲げた施策にかかわる公文書のすべてを一律永年保存するという考えではなく、当該公文書の重要度を個別具体的に見きわめ、基準に照らして判断してまいりたい。

**市長** 市長のマニフェストの政策に関する事項にかかわるすべてではないが、それも当然重要な文書になってくるだろうと思うっており、説明責任をきちっと果たせるような文書の管理にこれからも努めていきたいと思っている。

## 公社保有地の取り扱いについて

**議員** 蔵駅西口駅前再開発事業及び中央第一土地区画整理事業の見直しに伴う蔵市公社保有地の買い戻し及び用途への影響について伺いたい。

**総務部長** 事業の見直しの方向性に従って、現在、新たな事業へ向けての検討を進めている状況であり、当面は公社が市の委託を受けて先行取得した際の用途である区画整理事業等用地として公社により引き続き有効活用を図り、新たな事業の決定がなされた段階で決定内容に応じた用途に変更し、事業の進捗状況や財政状況を勘案しながら買い戻しを進めてまいりたい。

**議員** 錦町土地区画整理事業及び雨水調整池設置工事等に併せて、富士見グラウンドの整備を行う考えはないか。

**都市整備部長** 富士見グラウンドは区画整理事業の進捗により再整備でき



おおしま こういち

る環境は整っているが、錦町地区の雨水整備事業の基幹施設として野球場の地下に雨水調整池を建設する計画があることから、富士見グラウンドの整備については、雨水調整池の設置にふさわしい投資効果が発揮できる時期に合わせ再整備してまいりたいと考えている。



再整備が望まれる富士見グラウンド

# 蕨市の新型インフルエンザ 対策について



議室で診察を行う。

**議員** これまで本市の対応は  
どう行われてきたのか。

**市民生活部長** 5月1日に国  
内感染の疑い事例発生を受け、  
危機対策本部を設置。これま  
でに市内3中学校の京都への  
修学旅行の延期、保健センタ  
ーへの相談窓口開設、感染予  
防の広報、妊産婦への予防用  
マスクの配布を行った。

**議員** 発症事例が報告される  
と相談が急増する傾向がある。  
为中心的役割を果たしている  
のは保健所であり、感染拡大  
に備えて閉鎖が予定される戸  
田麻分室を保健所に復活させ  
るよう県に要請すべきと思っ  
てどうか。

**健康福祉部長** 機会があれば  
話をしてみたい。

**議員** 市立病院での対応は。  
**病院事務局長** 発熱外来など  
は設置していない。院内感染  
を防止するために、感染が疑  
われる方は外から電話で相談  
してもらい、発熱患者等は看  
護師が問診の上38度以上の熱  
がある場合は玄関脇の臨時診

**議員** 季節性インフルエンザ  
と同時期に流行した場合、  
現在の発熱相談・発熱外来中  
心の（発熱外来の指定病院以  
外では診察しない）体制では  
限界があり、激増する患者に  
対応できない。市民の病院と  
して外来でどう対応していけ  
るか検討すべきと思う。

## 市立病院における地域 との連携について

**議員** 地域連携、市  
民への情報発信はど  
う行っているのか。

**病院事務局長** 3月  
に市立病院経営改革  
プランを策定し、地  
域連携室の設置、近  
隣病院等へのPR、  
紹介や逆紹介などを  
位置づけている。情  
報発信については現  
在ホームページの再  
構築中である。広報  
や報道各社などの媒  
体を通して改革プラ

ンの取り組みを紹介し、新た  
な患者確保につなげたい。  
**議員** 市民の病院として地域  
連携や情報公開・発信に熱心  
な病院などの先進的な取り組  
みも伝えられ、方向性は一致  
している。今後も積極的な取  
り組みを願いたい。

**ほかに** 「ゴミ集積所のカラ  
ス対策」「中央浄水場通り舗  
装補修」「市民公園の使用法  
について質問。



地域と連携が期待される市立病院

# 介護保険・高齢者福祉の 充実について



**議員** 新要介護認定は、要介  
護度が従来より低く出るとの  
批判がある。本市ではどうい  
う結果が出ているのか。

**健康福祉部長** 5月中に103件  
が更新認定され、軽度へ変更  
になる判定が24件だった。

**議員** 本人が希望し、本市が  
認めれば従前の要介護度に戻  
せるが、本市の対応はどうか。

**健康福祉部長** 13人が従前の  
要介護度を希望したので、全  
員を希望通りにした。

**議員** ケアプランに納得  
できない場合、どうすべ  
きか。

**健康福祉部長** 地域包括  
支援センター及び介護保  
険室で相談を受け付けて  
いる。

**議員** 特養ホームの待機  
者数と待機期間はどうか。

**健康福祉部長** 6月9日  
現在、サンクチュアリ  
の待機者が23名。待機期間  
は直近1年間の入所者の  
平均で18カ月となってい  
る。



蕨ダイサービスセンターで楽しく語り合う利用者たち

**議員** 第4期介護保険事業計  
画で、平成23年度までに定員  
29人の特養ホームを整備する  
計画になっているが、是非実  
現してもらいたい。

**健康福祉部長** 事業者からの  
打診はきている。努力したい。

**議員** 介護サービスの限度額  
を超えてサービスを利用する  
と、自己負担はどのくらいに  
なるのか。

**健康福祉部長** 身体介護の場  
合、1時間未満で4千100円。

**議員** 低所得者に払える額で  
はないので、何らかの助成を  
研究してもらいたい。

**議員** 福祉連絡システムの利  
用状況はどうか。もっと普及  
させる必要があると思うが。

**健康福祉部長** 266名に利用さ  
れており、昨年度の緊急通報  
は318件で、相談対応20件、ヘ  
ルパーによる訪問介護97件、  
救急車要請12件である。今後  
も普及に努めていく。

## 住宅リフォーム助成 制度の創設について

**議員** この制度は地元の企業  
に住宅リフォームを頼むと市  
が一定額を助成する制度で、  
市民も助かるが、地元中小企  
業の仕事確保に効果がある。  
制度化すべきと思うが。

**市民生活部長** 県内で20以上  
の自治体が行っており、経済  
対策として効果がある。

**議員** 市長の考えはどうか。

**市長** 実施に向けて検討して  
いく課題だと思つ。前向きに  
取り組みたい。



## 新経済対策予算に対する 市の対応を問う

**議員** 景気の底割れを防ぎ、  
現下の経済危機を克服し、さ  
らには市民生活を守るといっ  
施策に重点を置いた国の新経  
済対策予算に対する市の対応  
並びに、それに付随する補助  
金、基金等の有効活用につい  
てどのように考えているのか。

**総務部長** 「地域活性化・経  
済危機対策臨時交付金」は、  
地方公共団体が地域の実情に  
応じ、地域活性化等に資する  
事業、または経済危機対策を  
着実に実施できるよう臨時的  
に交付されるものであり、地  
域での雇用の創出につながる  
「ふるさと雇用再生基金事業」  
および「緊急雇用創出基金事  
業」に関わる事業費補助金は、  
離職を余儀なくされた非正規  
労働者、中高年齢等の次の雇  
用への創出を目的とするもの  
である。事業方式については、  
委託事業、直接実施事業とも  
に可能であり、雇用期間は2  
カ月以上6カ月未満となつて  
いるもので、本市の市民生活  
の改善に役立てるとともに、



申請期限が迫ってきている定額給付金担当事務所

地域活性化、地域課題解決の  
好機ともとらえ、現在、全庁  
で取り組みを進めていること  
である。

**議員** 定額給付金・子育て応  
援特別手当事業の進捗状況と  
妊婦一般健康診査事業の拡充  
について伺いたい。

**総務部長** 「定額給付金」に  
ついては、6月8日現在、申  
請件数は2万9,429件で、



まつもと とおる

そのうち給付された件数は2  
万8,252件、総額9億536  
万2千円となっている。

**健康福祉部長** 「子育て応援  
特別手当」事業の進捗状況に  
ついては、本年2月1日現在  
で該当児童のいる699世帯に対  
し4月9日に申請書を発送し、  
4月15日から順次受け付けを  
開始し、6月8日現在の申請  
状況は697世帯で、申請率97%  
となっている。

「妊婦一般健康診  
査事業の拡充」につ  
いては、国が妊婦の  
健康管理の充実及び  
経済的負担の軽減を  
図り、安心して出産  
できることを目的に  
妊婦健診の公費助成  
を14回に拡充する施  
策を打ち出したこと  
に伴い、本市は本年  
4月から従来の5回  
から14回へと公費助  
成を拡大したところ  
である。

## 一般質問

## 特別支援教育の推進に ついて



個々の児童が適切な指導が受けられる東小ことばの教室

**議員** 難聴言語通級指導教室  
の東小・学校への増設によつて  
その後の状況や、環境整備は  
どうか。

**教育長** 北小に通級している  
児童は13名、東小に16名。待  
機児童が解消され、個々の児  
童が適切な指導を受ける事が  
でき、通級にかかる時間も短  
くなり、児童や保護者の負担  
も軽減された。指導に必要な  
設備用品は計画どおり整備さ  
れ、エアコン2台を設置する。

**議員** 難聴言語通級指導教室  
の東小・学校への増設によつて  
その後の状況や、環境整備は  
どうか。

**教育長** 通級による発達障害  
児の教育については、専門的  
な指導を必要とする児童・生  
徒がいる実態から、開設にむ  
けて引き続き県へ要望してい  
きたい。

### 公共施設予約システムの 構築について

**議員** 公共施設予約システム  
の導入をすすめるためどう研  
究がすすめられているか。市  
民の利便性を高めるためにな  
るべく早い導入が望まれるが  
どうか。

**総務部長** 現在の研究では、  
民間事業者に委託することで  
保守運用業務の大幅な軽減が  
可能になることなどが判明し  
た。関係部局からなるプロジ  
ェクトチームを立ち上げ市全  
体の公共施設予約システムの  
導入に向けて検討していく。

**3階建共同住宅への直  
接給水の実施について**

**議員** 現在本市では、3階建  
専用住宅においては直接給水  
が行われているが、3階建共  
同住宅への直接給水の実施に  
ついてはどうか検討されている  
か。

**水道部長** 平成22年8月に竣  
工予定の中央浄水場改修工事  
に取り組み、災害時における  
水の確保の見通しがついた時  
点で採用していく。

**ほかに** 「図書館のサービ  
ス向上」「乳がん・子宮がん検  
診の推進」について質問。



やまわき のりこ

# 蕨駅東口駅前の整備・開発についてを問う



エレベーター設置に向けて整備される蕨駅東口広場



かわしま よしのり

積など、土地の高度利用を促進しながら、都市基盤の再編と魅力ある町並み整備を推進していくことが求められているが、現在のところ具体的な整備構想の策定には至っていない。

**議員** 駅東口にエレベーターを設置する際、タクシー乗り場の移転を考

えるべきと思うがどうか。

**都市整備部長** タクシー乗り場の位置を南浦和駅寄りに若干移設する必要があることから、昨年8月以来、タクシー協会とも協議をしている。

## 自治会(町会)への支援について

**議員** 町会に対する市の方針並びに各種補助金などの支援策について伺いたい。

**市民生活部長** 町会はいくつより地域活動を通じて共助の

中核を担っており、町会と行政が連携、協働を進めることは、安全・安心、快適なまちづくりを推進する上でも大変重要であると考えている。

各種補助金の内訳は、町会補助金、町会街灯電気料補助金、町会街灯維持管理費補助金、町会掲示板設置費補助金、安全・安心きれいなまちづくり補助金、自主防災組織育成交付金となっており、毎年ほぼ同額、町会活動への支援を行っている。

**議員** 町会会館建設に関する市・県等の補助制度はどのようなか。

**市民生活部長** 町会会館の新設については、コミュニティ施設特別整備事業補助金を一千万円の範囲で交付している。また、町会会館の増改築、修繕については、新築後10年以上経過した建物で、かつ事業実施に要する経費が200万円以上である場合は、補助対象経費の3分の1以内で、200万円を限度に補助を行っている。

# まちづくり・人づくりの生涯学習の推進について

**議員** 公民館の重点施策と現代的な課題、学習等の開催状況はどのようになっているのか。

**教育長** 蕨市教育行政の重点施策の中で必要課題や地域問題に係る学習活動の推進を掲げており、現代的課題学習等については、地域防災学習、地域防犯学習、ひがし団塊セミナー、子どもの健康を考える講座など、現代的な課題に

重点を置いて開催している。また、災害時の危機管理を考えるための講演会、国際理解を深めるための講演会等を開催するなど、地域全体で現代的な課題を学習し、実践活動のきっかけづくりになるよう実施している。

**議員** 今、子育てで悩んでいる若いお母さんたちがたくさんいるので、公民館の事業の中で家庭の教育力をつけるための学習会等を計画し、

その中で人との触れ合いをつくりながら、お母さんたちに家庭学習の大切さを学んでいただくたいがどうか。

**教育長** 子育て支援といふのは、考え方によっては家庭教育力をつけるということでもある。今後、積極的に力を入れて進めていきたい。

**議員** 社会教育主事の配置と公民館職員研修について伺いたい。



そめや かずこ

**教育長** 社会教育主事は生涯学習課に2名、公民館に5名配置されている。公民館職員研修等の実施については毎月1回、館長会議や事業担当者会議を行っており、また、職員の専門性の向上を図るために必要な学習課題を選択し、年間スケジュールを立てて研修を実施している。

## 乳幼児期からのメディア対策について

**議員** 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は発達に影響を与え、と言われているが、どのような対策をとられているのか。

**健康福祉部長** 保健センターでは、乳幼児健診時や電話相談時に必要と思われる場合には保健師が家庭訪問を実施し、家庭での様子を見て、保護者に対し脳への影響などを説明し、改善に向けた指導を実施している。また、本年度より子育て支援講座においてアウトメディア対策の講座を考えている。

## あつたか市政を問う



エコなMYうちわで今年の夏は涼しいね(下蕨公民館)



## 政務調査費の執行状況をお知らせします

平成20年度、各会派に交付された政務調査費の執行状況は次のとおりです。蕨市議会では使途の透明性を高め、各会派の活動内容を明らかにするため収支報告書を公開しています。（政務調査費は1人月額3万3千円交付されます。）

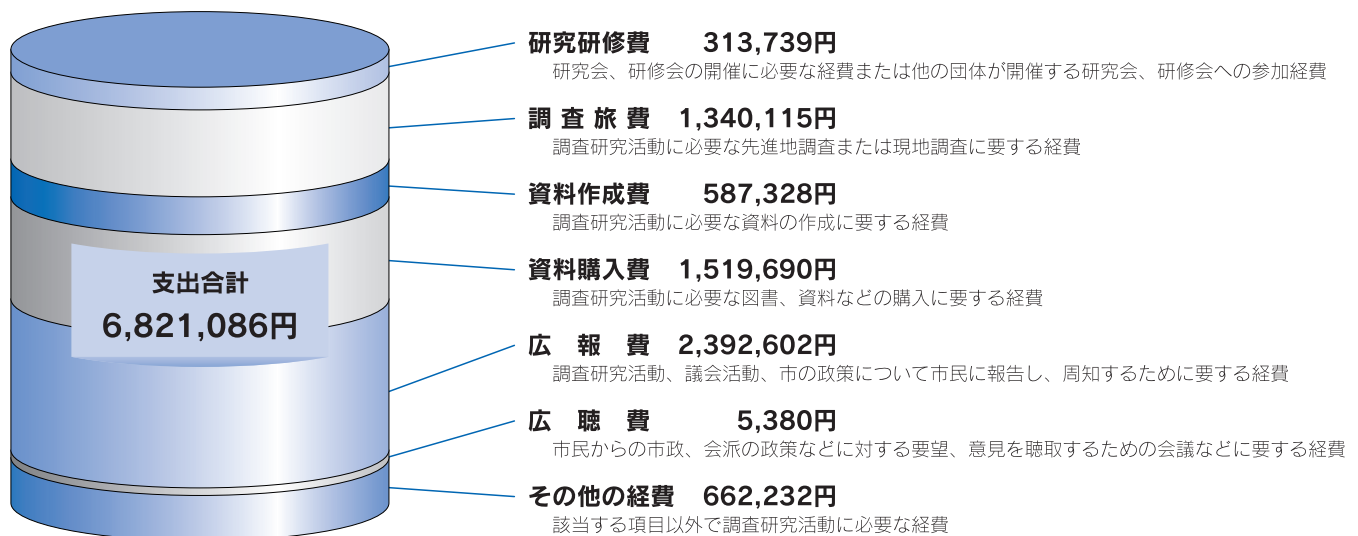
### 平成20年度政務調査費収支報告

（単位：円）

会 派 名 項 目	新生会 (6人)	共産党 (4人)	公明党 (3人)	政風会 (3人)	民主クラブ (2人)
政務調査費交付額①	2,673,000	1,584,000	1,188,000	891,000	792,000
1 研究研修費	63,000	205,539	0	31,020	14,180
2 調査旅費	696,158	180,295	0	344,745	118,917
3 資料作成費	230,527	188,672	85,562	55,579	26,988
4 資料購入費	592,467	260,832	239,550	140,785	286,056
5 広報費	967,913	652,729	496,350	0	275,610
6 広聴費	0	5,380	0	0	0
7 人件費	0	0	0	0	0
8 事務所費	0	0	0	0	0
9 その他の経費	87,250	86,052	366,430	63,700	58,800
支出合計②	2,637,315	1,579,499	1,187,892	635,829	780,551
返還額（①－②）	35,685	4,501	108	255,171	11,449

※政風会は20年4月1日～12月31日までの報告。

新生会は、21年1月1日付で政風会の3人が所属し9人となりました。



### 編集後記

赤ちゃんに話しかける時は自然と声が高くなるそうです。本能的なのか、文化的要請なのかはわかりませんが、そういえば低い声で話す人はあまり見かけません。では大人に対してはどうかというと、面識のない人に話しかける場合、若年世代より高齢世代に対しての方が声のトーンが高くなるそうです。相手に車椅子に座ってもらうと、さらに声は高まるそうです。ということは、高い声は弱者へのいたわりの表れかもしれません。専門家によると、高齢者の方々は高い声より低い声の方が聞き取りやすいそうです。

今、私たちが直面している高齢社会では思いやりは欠かせません。一方で、高齢者の方々にも能力を最大限に発揮してもらわなくてはなりませんし、若い世代の頭を抑えることはしない、というバランス感覚も必要でしょう。子どもに対するのとは異なる心配りをしつつ、高齢者の元気をサポートすること。社会が求められているひとつの大きな課題だと思います。